

## ふくとみいいね！おしえたい！

児童 第1学年14名 第2学年10名 計24名  
授業者 香川 大輔 手島 香苗 八方 美恵  
場所 1・2年教室

### 1 単元設定の理由

#### 【単元の目標】

○自分たちが生活している福富小・中学校や福富町でたくさんの人が集まる道の駅を見学し、その場所や働いている人々について知り、まとめたことをこども園の園児に伝えたりする活動を通して、自分たちの小・中学校や住んでいる地域のよさに気づき、地域への愛着をもち、今よりもさらに学校や地域のよさを見付けて楽しく過ごそうとすることができる。

#### 【児童の実態】

○第1・2学年の児童は、これまで生活科で、一緒に学校探検や野菜作りを行ってきた。周りの人と、協力して学ぶ力はつきつつある。第1・2学年に行った事前アンケートでは、「福富町といえば」という記述式の質問をすると、「福富小学校」や「道の駅」について知っている児童が多いことや、1年生よりも2年生の方が、知っているものの数が増えていることが分かった。しかし、「福富小学校」と回答した児童の中には、教室の名前は知っているが、何をする場所なのか知らない児童や、「道の駅」と回答した児童の中には、「大きな遊具や広場」のみをイメージして記述した児童がいた。このことから、施設の様子や役割、そこで過ごしたり働いたりする人には気付いていない傾向があると言える。

#### 【単元観】

○本単元は、こども園の園児に福富小・中学校や道の駅のことを紹介するために、1・2年生の児童が課題を解決し、調べた内容を伝えていく中で、身近な人や地域に愛着をもち、そのよさを実感を伴い学んでいく単元である。こども園の園児に紹介するには、知らないことが多い自分達の学校を探検したり、地域でたくさんの方が集まる道の駅について疑問に感じたことを調査したりして、自分たちの知識を深めていくことが必要である。1年生は学校、2年生は道の駅と児童に身近な施設に着目し、調べ学習を進めることで、地域の人々や場所に親しみや愛着をもつことができると考える。さらに、発表資料を様々な方法でまとめることで、情報処理能力を高めるとともに、相手意識をもちながら、主体的・協働的に学習を進めることができる。

#### 【指導にあたって】

##### ○目的を意識した学習展開

指導にあたっては、児童に常に目的（こども園の年長さんに福富小・中学校と道の駅のことを伝えること）を意識しながら活動させるようにする。第一次では、目的を児童に意識させるとともに、本課題を自分事として考えさせ、児童のやる気を引き出すために、「自分たちの発表を聞いた年長さんにどんな気持ちになってもらいたいかな」と問い、自分の考えをもたせるようにする。第二次では、学年ごとに小プロジェクト（第1学年は学校について調べてまとめる、第2学年は道の駅について調べてまとめる）を進める。どちらの学年も「探検」として実際の場所を訪れたり、働いている人にインタビューをしたりする。ここでは、「探検」の視点を明確にして、学習を進めることを大切にしたい。「探検」の視点とは、「なぜなのだろう？」という疑問を大切に、その疑問を解決していくことである。第三次では、第一次で児童が考えた目的に沿った課題から第二次で調べて学んだ情報を、こども園の園児に内容が伝わりやすいように、表現を工夫して発表するように支援したい。そして、すべての活動が終わった後で、学校や福富のよさを児童自身が実感できるように、児童の思いへ共感し、肯定的評価をするといった言葉掛けを大切にしたい。

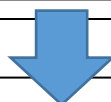
##### ○異学年でのグループ探究

低学年は発達の段階を考慮し、小プロジェクトは各学年で行うこととした。そこで、各学年がまとめたことをお互いに発表する時間を設け、探検の内容を伝え合い学び合うことで、内容理解を深めていく手立てを行うようにする。発表の形式に変化を付けながら複数回行ったり、高学年に発表を聞いてもらったりするなどして、異学年から学ぶことのよさを実感できるように指導していく。

## 2 単元構想ストーリー

### 【ふくとみいいね！おしえたい！ 単元ストーリー】 福富小学校第1・2学年

1年生	2年生	地域との連携 体験活動・資料	児童の意識 の流れ
○学校には、どんな場所や人、ものがあるか調べる。	○道の駅に行って、どんな場所、人やものがあるか調べる。	〈地域との連携〉 ・道の駅	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろなものがあったね。</li> <li>・道の駅も小学校も、優しい人が多かったね。</li> </ul>
○昨年度、児童が作成した動画を見て、「今年も年長さんに小・中学校や道の駅のことを教えたい。いろいろなことを調べてみたい。」という課題意識をもつ。			
○子どもたちが、こども園の先生に電話をして、「年長さんに学校や道の駅のことを伝えたい。」と、願います。		〈地域との連携〉 ・こども園の先生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年長さんに小学校のことを教えてあげたいな。</li> <li>・道の駅のことにはよく分からないな。行ってみたいな。</li> </ul>
○1・2年生ごとに小グループを作り、互いに相手を意識しながら思いやりをもち、活動する。			
<b>【1年生】</b> ○学校のお気に入りの場所を調べる。 ○小学校に関わるもの（校歌や校章など）や人（校長先生など）について調べる。	<b>【2年生】</b> ○道の駅に行って、道の駅で調べたい場所やものについて調べる。 ○道の駅で、働いている人に話を聞き、お店の工夫や思いについて調べる。	〈地域との連携〉 ・道の駅	<b>【1年生】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図書室は、楽しい本がいっぱいあるから紹介したいな。【地域】</li> <li>・校長先生に小・中学校の話を知りたいな。【地域】</li> </ul> <b>【2年生】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道の駅は、いろんなものを売っているよ。【地域】</li> <li>・道の駅にはたくさんの人が働いていたよ。【地域】</li> </ul>
○小グループごとに、小・中学校と道の駅のよさや共通点を交流し、調べたことをまとめる。			
○調べたことをどのようにまとめるか、方法を考えたり、選んだりする。		〈地域の連携〉 ・こども園の先生 ・年長さん	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どうやったら分かりやすく伝わるかなあ。</li> <li>・〇〇さんたちのグループの発表は分かりやすいな。</li> <li>・自分たちの発表にも生かしたいなあ。</li> <li>・年長さんが聞いてくれてうれしかったよ。</li> <li>・年長さんが入学したときのために、学校を大切にしていこう。どんなことができるかな。</li> </ul>
○自分たちが考えた発表内容を交流し、年長さんに内容が伝わるか考える。			
○小・中学校と道の駅について調べて分かったことを年長さんに発表する。（ポスター、写真、絵、マップなど）		〈地域の連携〉 ・こども園の先生 ・年長さん	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年長さんが入学したときのために、学校を大切にしていこう。どんなことができるかな。</li> </ul>
○学習を振り返り、自分がこれからどのように生活していきたいかまとめる。			



#### めざす児童・生徒像

自分たちが生活する「福富小・中学校」と身近な公共施設のよさについて、周りの人に聞いたり、直接行ったりして調べ、学校や地域に愛着をもち、大切にしていこうとする児童

### 3 単元の評価観点・評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
学校生活に関わる活動や地域の場所を通して、学校での生活や地域の場所は様々な人や施設と関わっていることが分かっている。	学校生活に関わる活動を通して、学校・地域の施設の様子や学校生活・地域の施設を支えている人々、そこで働いている人々などについて考えている。	学校生活や地域に関わる活動を通して、それらに親しみや愛着をもち、適切に接したり安全に生活したりしようとしている。

評価の観点		評価規準	
		A	B
知識 技能	① 知識	○探検して分かったことを互いに交流し合い、場所や人、 <u>ものの役割や働き</u> について気付いている。	○探検して分かったことを互いに交流し合い、場所や人について気付いている。
	② 技能	○探検に行って話をしたり、年長さんに伝えたりする際、 <u>相手に応じて適切な挨拶や言葉遣い</u> をしている。	○探検に行って話をしたり、年長さんに伝えたりする際、適切な挨拶や言葉遣いをしている。
思考 判断 表現	① 予想する	○探検する場所をイメージして、 <u>どんな行動をとればよいのか</u> 予想しながら、探検の計画を立てたり、質問や約束を考えたりしている。	○探検する場所をイメージして、探検の計画を立てたり、質問や約束を考えたりしている。
	② 見付ける	○学校や道の駅を探検することで、 <u>関わる人々の思いや役割</u> 、その場所の特徴やよさを見付けることができる。	○学校や道の駅を探検することで、その場所の特徴やよさを見付けることができる。
	③ 比べる	○調べたことについて、気付いたことを比べたり、 <u>関連付けたりして話し合う</u> ことができる。	○調べたことについて、気付いたことを比べながら話し合うことができる。
	④ 表す	○学校や道の駅の施設や様子について、分かったことを <u>相手に分かりやすいように</u> 表している。	○学校や道の駅の施設や様子について、分かったことを表している。
主体的に学習に取り組む態度	① 粘り強さ	○課題について、自分の意見をもち、 <u>目的をもって前向き</u> に取り組むことができる。	○課題について、自分の意見をもち、前向きに取り組むことができる。
	② 学習の調整	○役割をもち、 <u>相手の意見を聞き</u> 、最後までやり抜くことができる。	○役割をもち、最後までやり抜くことができる。
	③ 実感や自信	○自分たちの小学校や住んでいる地域のよさに気づき、愛着をもち、 <u>さらによさを見付けて楽しく過ごそう</u> としている。	○自分たちの小学校や住んでいる地域のよさに気づき、愛着をもち、楽しく過ごそうとしている。

#### 4 単元計画（全40時間）

小単元 (時数)	小単元の目標と主な学習内容 ◎ねらい ○学習内容	評価の観点 (評価方法)	教科・特別活動等 との関連
1 (課題発見・情報収集 12時間)	◎ 小学校と福富の地域について関心をもち、知っていることやもっと知りたいことについて考え、調べるための準備をすることができる。 ○昨年度作成した青組さんへのビデオから小学校や道の駅のことについて関心をもち。(1) ○小学校と道の駅について、調べたいことや教えたことについて考える。(6) ○小学校と道の駅に探検に行く計画を立て、準備をする。(3) ○それぞれの学年で、小学校と道の駅に行き、直接施設や場所を見たりその場にいる人に質問したりして、情報収集をする。(2)	主①(発言・振り返り) 思①(発言・ワークシート・振り返り) 思①(行動観察・振り返り) 知①(行動観察・ワークシート) 思②(行動観察・ワークシート)	<2年生道徳> 「あいさつ」っていいな
2 (析 15時間)	◎ 実際に、小学校と道の駅を探検して調べて分かったことをまとめ、よりよい伝え方の方法を考える。 ○探検して分かったことを、絵と文に表現し、グループごとにまとめをする。(9)(本時 2/9) ○1・2学年合同で、発表会を行い、それぞれの学びを共有する。(2) ○発表の内容から、青組さんに伝える内容について検討し、視点をもって、再度探検に行く。(4)	思③(行動観察・記述) 思④(発表資料・行動観察) 主②(行動観察, ワークシート)	<1年生国語> すきなきょうかはなかに <2年生国語> この人をしょうかいします <1年生道徳> ぎおんまつり <small>C-15 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度</small>
3 (えよう(まとめ・表現 13時間)	◎年長さんにつたえるために、分かりやすく伝える方法を考え、実行する。 ○伝える内容や方法について考える。(4) ○考えたことを生かして、発表する。(8) ○学習を振り返り、自分や友達の成長を自覚し、より良く生活しようとする。(1)	思①(行動観察・振り返り) 知②(発表資料・振り返り) 思④(発言・発表資料) 主③(振り返り)	<1年生国語> 小学校のことをしょうかいしよう <2年生国語> すきな場しょを教えよう <学校行事> 入学説明会

#### 5 本時の目標

気付いたことを整理する活動を通して、働いている人の思いやその場所の工夫やよさについて交流するとともに、自分と友達の気づきを比べながら話し合うことができる。(思考・判断・表現③)

## 6 本時のループリック

A	B
<p>☆調べたことについて、自分と友達の気付きを比べたり、関連付けたりして話し合うことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・僕の気付いたことと△△さんが気付いたことは□□というところが似ているね。</li> <li>・〇〇と〇〇は一緒に伝えてもいいと思う。理由は…</li> <li>・〇〇と〇〇はつながると思う。</li> </ul>	<p>☆調べたことについて、自分の気付きと友達の気付きを比べながら話し合うことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・△△さんの意見と違って、〇〇がいいと思う。</li> <li>・〇〇と△△では、〇〇がいい。</li> <li>・△△さんの〇〇も伝えたい。理由は…</li> </ul>

## 7 学習の流れ

学習活動と予想される児童・生徒の反応 主な発問 (○)	指導上の留意事項 (◇) 評価 (☆)
<p>◆努力を要する状況と判断した児童・生徒への指導と手立て</p>	
<p>1 前時を想起する。</p> <p>○調べて分かったことを振り返りましょう。</p> <p>【2年生】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道の駅のお店を調べました。</li> <li>・道の駅の遊具を調べました。</li> <li>・福富ダムを調べました。</li> </ul> <p>【1年生】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・勉強について調べました。</li> <li>・休憩時間のことを調べました。</li> <li>・上級生のことを調べました。</li> <li>・先生のことを調べました。</li> </ul> <p>2 本時のめあてについて確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>あおぐみさんに つたえたいことを きめよう。</p> </div>	<p>◇本時に行う内容の見通しをもたせるために、前時までに各グループで調べて分かったことを全体で共有する。</p> <p>◇お互いの活動の様子を確かめながら学習を進めるために、meet を活用して、各教室の様子を適宜交流する。</p> <p>◇青組さんが発表を聞いて「わくわく」「たのしみ」になるようなことを考えるようにさせる。</p>
<p>3 整理の仕方を確認し、グループの中で意見を伝え合う。</p> <p>○たくさんあるけれど、みんなの気付きの中から、青組さんがわくわくするように「これは伝えたい！」と思うのはどんなことか考えましょう。</p> <p>【2年生】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福富町の野菜が売ってあった。</li> <li>・福富町の野菜と、その野菜を地域の人を作っていることは一緒に伝えられないかな。</li> <li>・ジェラートは人気がある。</li> <li>・みんなに美味しいものを食べてほしいという思</li> </ul>	<p>◇グループの全員が考えを伝えられるように、話し合うときは話型カードを使って進められるようにする。</p> <p>◆考えがまとまらない児童は、比べやすいように児童の気付きを2種類例示して、考えさせるようにする。</p> <p>◆説明するとき、整理の仕方をパワーポイントで提示することで、見通しをもって話し合いに参加できるようにする。</p> <p>◇グループで意見を共有するために、事前に付箋に気付きを書かせておき、付箋を操作させながら意</p>

いはどれも一緒？

- ・ 11種類の滑り台があった。
- ・ ダムにかかっている橋は、ダムができる前にできた。

### 【1年生】

- ・ どれを伝えたいかな。青組さんは授業で何をするか知りたいかな。
- ・ 生活科や図工のことがあるよ。特にこっちが伝えたいな。
- ・ 高学年はタブレットでこんなことをしているんだ。ぼくたちと違うな。
- ・ 休憩は、広いグラウンドで遊ぶ。
- ・ 私が書いたことと違うことがたくさんある。

4 本時の振り返りをする。

見を伝え合うようにする。

◇ 2年生と1年生で、発達段階に合わせた整理の仕方にする。2年生は上下に分かれた模造紙で、伝えたい気付きを上貼るようさせる。1年生は大きな星マークを書いた模造紙を渡し、伝えたい気付きを星の中に貼らせるようにする。

☆ 働いている人の思いやその場所の工夫やよさについて、自分と友達の気付きを比べながら、話し合えることができる。(思③行動観察・発言)

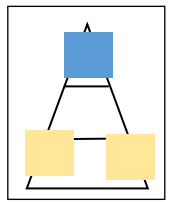
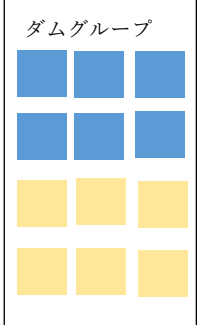
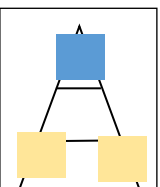
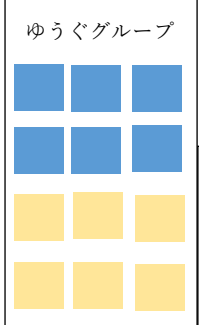
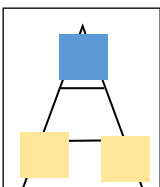
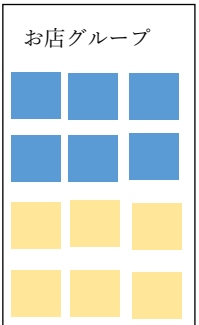
◇ 本時の振り返りを行うことで、次時への意欲を高めることができるようにする。

## 8 板書計画

めあて：あおぐみさんに つたえたいことを きめよう。

○あおぐみさんに  
どうなってほしい？  
・ わくわく  
・ たのしみ

わたしは、○○がいいと思います。  
○○と△△をくらべると○○がいいと思います。  
わけは○○だからです。

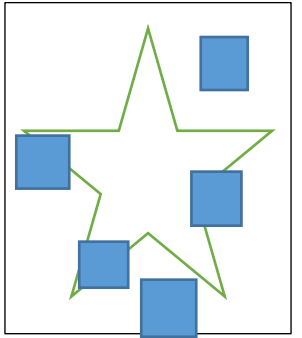
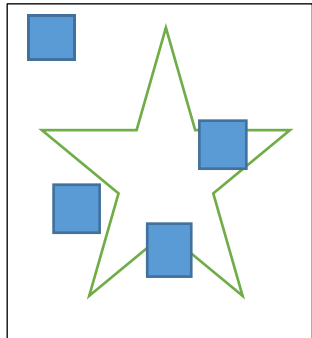
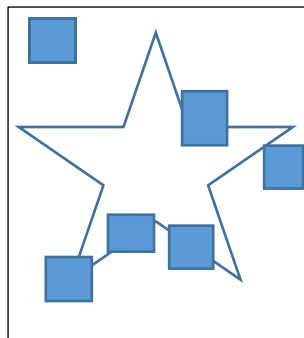


2年

めあて：あおぐみさんに つたえたいことを きめよう。

○あおぐみさんに  
どうなってほしい？  
・ わくわく  
・ たのしみ

わたしは、○○がいいと思います。  
○○と△△をくらべると○○がいいと思います。  
わけは○○だからです。



1年



## ふくとみ いいね おしえたい

～単元における目指す児童像～

自分たちが生活する「福富小・中学校」と身近な公共施設のよさについて、周りの人に聞いたり、直接施設に行ったりして調べ、学校や地域に愛着をもち、大切にしていこうとする児童

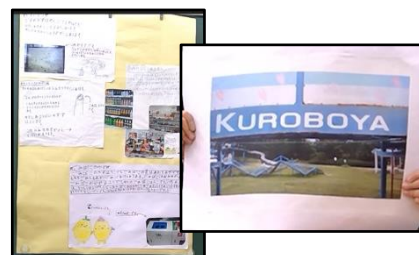
このような児童の姿を達成するために、以下のような工夫を行った。

### 主体性を育成する工夫

#### ・表現方法の選択

児童が集めた情報をどの方法を使ってこども園の園児に教えたいか、児童自身で決めるようにした。絵や写真、スライドやポスターなど多様な表現方法で仕上げることができた。児童自身で表現方法を選択したことにより、届ける相手を意識して作成することができた。

また、グループの人に自分の考えを説明するときには、「話し合いカード」を用いて説明した。「話し合いカード」には、いくつかの話型が示されていて、児童が自分の説明にあった話型を選択できるようにした。



こども園の園児へ発表するための資料の一例

#### ・付箋の活用

自分の考えを付箋に書いてグループの人と共有することで、自分達で似ている内容を見付けたり、こども園の園児に教えたいことや調べて分かったことをグルーピングしたりする姿が見られた。付箋を用いて学習を進めると、自分の考えが可視化され、付箋を見たり指し示したりしながらグループの人に説明することができた。また、付箋の数が増えていくと児童の意欲が高まり、様々な気付きを見付けることができた。



付箋を用いて話し合い活動をする児童の姿

#### ・単元との出会いの工夫

単元の導入には、体験活動として1年生は学校見学を、2年生は道の駅見学を行った。その後、昨年度こども園にプレゼントした動画を視聴し、自分たちはどのようなことを園児に伝えたいか考えさせるようにした。そうすることで、児童自身が体験して学んだことや疑問に思ったことを園児に「教えてあげたい。」という気持ちをもつことができた。さら

に、「去年の人が言っていないヒミツを見つけたよ。」など、昨年度の動画と自分の体験を比較し、教えたい内容を決める児童の姿が見られた。



単元の導入に道の駅を見学する児童の姿

## 協働性を育成する工夫

### ・グループ設定

大プロジェクトを「こども園の年長さんに学校や道の駅のことを教えてあげよう。」とし、小プロジェクトを各学年で行った。小プロジェクト内では、教えたいことや知りたいことが共通の児童が集まるようにグループ分けを行った。そうすることで、興味・関心が似ている児童が集まり、お互いに関わり合っただけで学習を進める意欲をもつことができた。

### ・異学年交流

単元の導入やまとめなど、1・2年生合同で学習する時間を設定した。単元の導入では、2年生が1年生へ学習の仕方を教える様子が見られた。2年生のアドバイスで、1年生はどのように学習を進めるのか見通しをもつことができた。また、昨年度の動画を視聴した1年生の中に、「こども園のときに見たことがある。」と発言した児童がおり、2年生は動画を届けた相手からの感想を聞くことができ、嬉しそうな様子であった。単元のまとめでは、お互いの発表を聞き合うことで、内容だけでなく発表方法を学んだり、よかったところを認め合ったりすることができ、お互いに学ぼうとする姿が見られた。

## 成果と課題

○導入で昨年度1・2年生が作成したメッセージを視聴したことで、「あおぐみさんにゆっくり、はっきりつたえたい。」などの振り返りが児童の感想から見られ、主体性の向上につながったと考える。また、2年生は初めに道の駅へ見学に行ったことで、「わたしはブランコを教えたい。」など、調べたいことや教えたいことを明確にして学習に取り組むことができた。

○児童アンケートでは、どの項目も数値の上昇が見られた。「ふくとみちちょうのすきなところやみんなにおしえてあげたいところがある。」は、76%（6月）から100%（12月）へ24ポイント上昇した。異学年交流を行ったことで学び方を理解することができたり、体験活動を行ったことで教えたいことを明確に捉えたりすることができた。「ふくとみちちょうについて、もっとしりたい・まなびたい。」は、79%（6月）から100%（12月）へ21ポイント上昇した。学習発表会では他学年の発表を聞き、「学年が上がったら自分たちはこんなことができるんだ。」と発言する児童がいるなど、福富について学ぶ意欲が高まった。

●児童アンケートでは、どの項目も数値の上昇が見られたが、6月に実施した時には、1年生がアンケートの内容について十分に理解できていなかった可能性がある。アンケートを実施する際は、調査内容や実施方法を十分に検討する必要があると感じた。

●本単元と生活科の単元との時間数の割り振りが難しいと感じた。「学校と生活」に関する内容に割り当てられている時間数や内容領域が1・2年生で異なるため、学年間の調整も必要だと感じた。